

地域づくり・人づくり・町づくり

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

田上本町
田上本町第2
朝霧台
田上町
田上1丁目
田上2丁目

田上新町
田上公町
田上さくら並木
田上の里

上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

若松町
若谷町

旭町
角間新町

下中島
旭日会

たがみ

公民館だより

太陽が丘

田上里

太陽が丘・ひまわり
・あおぞら
・そよかぜ
・ゆうひみ

角間新町

旭町

上
中
下

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

第109号

令和2年10月31日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部

<https://tagamicc.jp/>

新型コロナ感染拡大から、私の挨拶はこれに変わりました。コロナ禍への対応等については、公民館だより臨時号に館長所感を掲載させて頂きましたが、第一波の大きなうねりから第二波と続き、やつと下火となってきたようですが、石川県の発生は続いているます。公民館は三密対策の徹底と感染拡大防止のガイドラインを遵守し規模縮小はありますが、一定の活動を開催、事務室のWi-Fiの再整備も行い、今後拡大していきますITC化・オンライン化（デジタル化）の整備にも取り組んでいきたいと思っています。

「ウイズコロナ」、「アフターコロナ」、「ポストコロナ」などと言葉の氾濫はありますが、まだまだ続くこれらの中で、公民館事業も新しい時代に対応した取り組みも考えていかなければなりません。

地域の皆さんとの新しい生活様式に対応した取り組みを提案し、各専門部会でも検討と研究を続けていくことを確認しました。

その中の一つは、「田上・杜の里十景」の取り組みです。広報視聴覚部で、地域に保存されています歴史的に貴重な遺産や景観はもとより、次につないでいくための景観等の選定を行い、写真・絵画・俳句

で作り上げていく取り組みです。

その他、町の近代化とともに消えつつあります昔からの町名や小字名について、その由来を含め残していくこうとの取り組みです。また、地域に存在している「お宝」について、「プラ田上・杜の里」として訪ね歩き再発見していくためのマップ作りでいます「お宝」について、「プラ田上・杜の里」として訪ね歩き再発見していくためのマップ作りでます。また、折角の「お宝」も、案内看板や説明看板がなければ子どもたちを含め地域の皆さんに知りません。町会連合会とも連携を取りながら、まちづくりの一環として取り組んでいきたいものです。

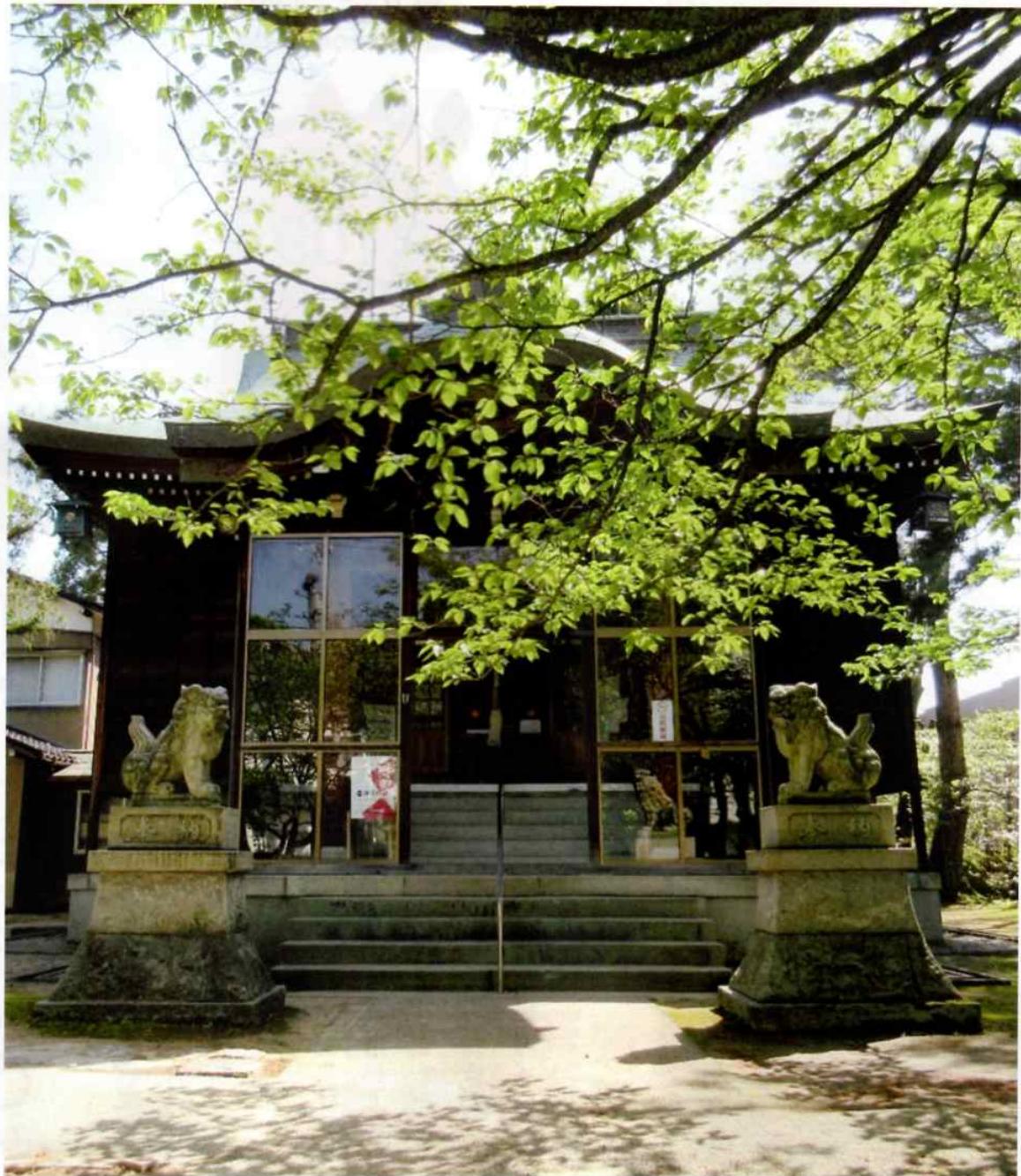
また、7年間余続けています「ふるさと歴史研究会」の成果を、「昭和の田上」をジオラマとして残すことやふるさと歴史物語、子供向けのふるさと歴史副読本を発刊していくよう、県からの補助等受けながら取り組んでいきたいと思っています。さらに、「成らねば切るぞ」といった地域の伝統行事の再興、福祉の町的な総合型「まち」づくり、大学門前町学生のまちづくりの再構築、地域版のSDGsづくりなど、地域の皆さんからのご意見等も賜りながら新たな事業展開に工夫していきたいと考えています。地域の皆さんのご理解とご協力、ご参加をお願いいたします。（公民館長 関戸 正彦）



「皆さんお元気ですか？」

牛坂八幡神社の歴史と現在の活動

牛坂八幡神社は旭町のバス通り沿いに建つお宮です。なぜ「牛坂」と名前がついているかというと、旭町の前身である地名が「牛坂」だからです。



牛坂は慶長9年（1604年）には、既に石川郡鞍月郷に属した集落として存在していました。その後、幾多の変遷を経て文政4年に金浦郷に属し、更に明治22年には崎浦村大字牛坂となりました。金沢市に編入されたのは昭和11年4月です。その際に鶴間坂の旭観音にちなみ、町名を旭町と呼称されました。

牛坂八幡神社の創建は不詳ですが、安永5年（1776年）には建立されていました。その頃は社が二つあり、一社は応神天皇を主祭神とした現在の牛坂八幡神社が建立されている場所、もう一社は日吉社と号し、安永5年に川の中より拾い揚げられた大山咋命を祀られてありました。下宮さんと呼ばれ慶應3年には社殿も造営されました。が、明治40年4月、今の牛坂八幡神社に合祀され、現在に至っています。

昔の社殿は北向きで、その周りに門前集落がありました。しかし藩政末期の大火灾により民家の大半は焼失し、そのため神社はたんぼの中に孤立してしまい、祭事以外には参詣する人も少ない寂しい状況だったようです。

しかし、昭和47年、旭町は時代の推移により区画整理事業に取り組みはじめ、現在のお宮もこの事業を機に昭和50年に竣工されました。

昭和52年4月に区画整理事業による工事が完成し、現在の街並が形成されると、これまで農業（葡萄や田んぼ）を生業としていた旭町も新たにたくさん人が増えました。

それに伴い神社も賑やかになり、普段のお参りはもちろんのこと、初詣や左義長、鎮火祭、年に2回の大祓い、春と秋のお祭りには大勢の人々がお宮を訪れています。

また、神社総代・旭町青年団による茅の輪・注連縄の奉製、また、子ども会も加わった秋祭りのお神輿巡行など盛んな神事も、江戸時代より若者たちが力自慢をした盤持石（ばんぶちいし）が手水舎の隣で、静かに見守っている様です。

今年度はコロナ禍によりお神輿は見送られましたが、これから先、様々な活動が円滑に続けられるためにも、早い時期に区画整理事業に取り組んだ旧牛坂村の先達の思いを込めたこの旭町が常しことに榮えることを切に願っています。

サマーサマーギャラリー 今年も田上小・杜の里小児童作品展



9月8日（火）～9月12日（土）の期間、田上公民館のロビーにて、田上小学校・杜の里小学校の両児童たちが、夏休み中に制作した作品を展示する「サマーサマーギャラリー」が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とは違った夏休みになりましたが、そんな中でも暑さを吹き飛ばす元気な力作が揃いました。躍動感あふれる作品や、繊細に作りこんだ作品、with コロナの時代だからこそ生まれた作品など、生き生きとした素敵なお品ばかりでした。

昨年よりも少し短かった夏休みに、暑い中、一生懸命作ったことは夏休みのかけがえのない思い出になったことでしょう。両小学校での表彰式で表彰された皆さん、おめでとうございます。

来年も素晴らしい作品に出会えることを楽しみにしています。

（ニッ寺 琴栄）

公民館長賞

「よくわかる 1月～12月の花ずかん」

深谷 心美さん（田上小学校5年）

「ティラノサウルス」

浜田 琉央さん（杜の里小学校2年）



校長賞

「ショウジョウトキ」

浅谷 妃奈子さん（田上小学校6年）

「つるの木」

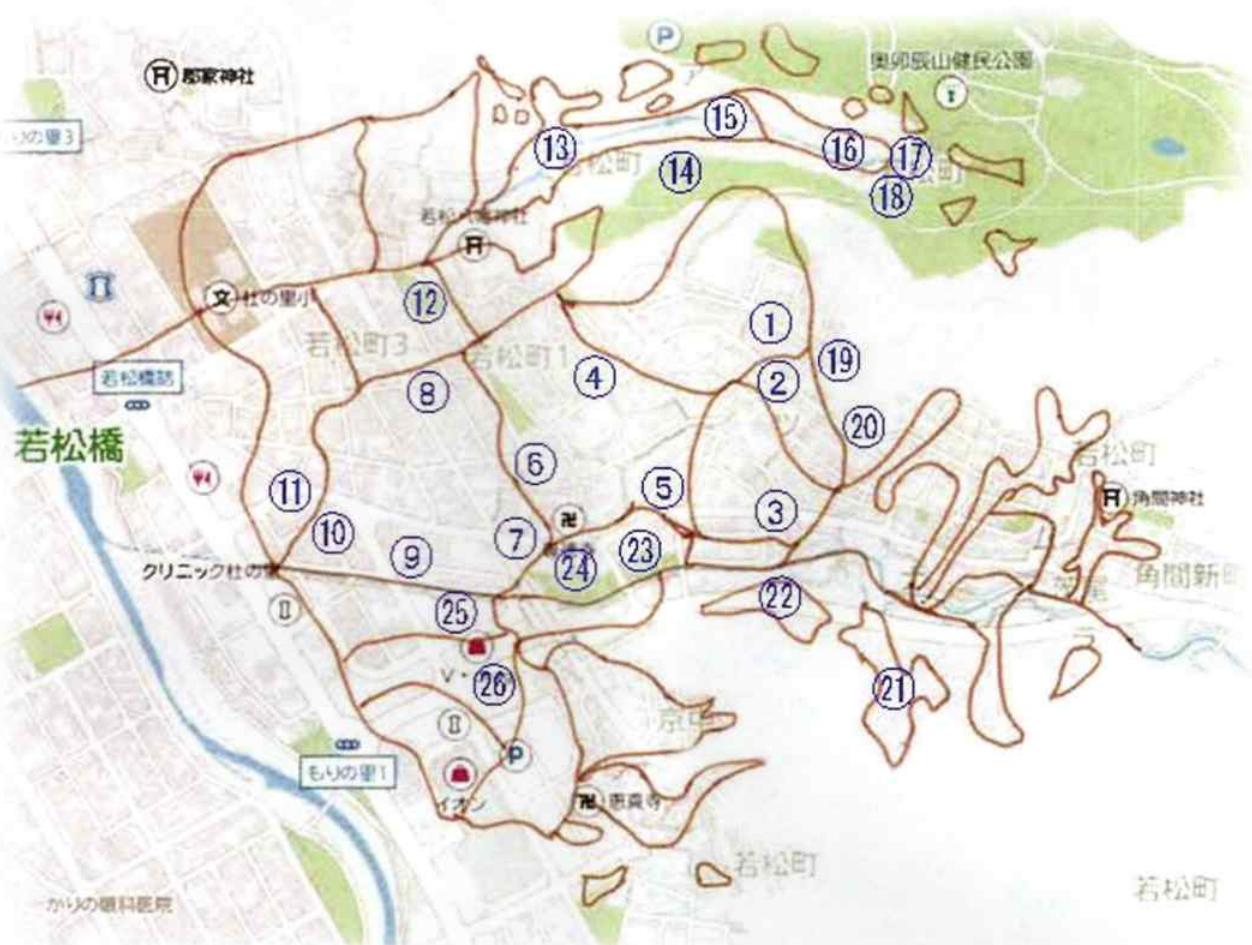
山田 笑歌さん（杜の里小学校6年）



3



歴史の散歩道（若松町）



資料は故松尾三郎氏が作成されたものです。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 15 中御坊谷 (ナカゴボウタン) | 1 御屋敷 (オヤシキ) |
| 16 奥御坊谷 (オクゴボウタン) | 2 他屋町 (タヤマチ) |
| 17 堀切 (ホリキリ) | 3 法事軒 (ホウジケン) |
| 18 御坊山 (ゴボウヤマ) | 4 上町 (カンマチ) |
| 19 丸山 (マルヤマ) | 5 荒町 (アラマチ) |
| 20 芝草 (シバクサ) | 6 大町 (オオマチ) |
| 21 漆谷 (ウルシタン) | 7 夜警坊 (ヤケボ) |
| 22 向堂 (ムカイドウ) | 8 じょまい屋敷又は(ジョマイヤシキ) |
| 23 花田 (ハナダ) | 9 夜番田 (ヨバンタ) |
| 24 馬場河原 (ババガラ) | 10 下館 (シタダチ) |
| 25 漆田 (ウルシタ) | 11 上館 (ウワダチ) |
| 26 堂田 (ドウダ) | 12 警備野 (ケイビノ) |
| | 13 御坊谷 (ゴボダン) |
| | 14 西府又は西方 (サイフ) |

昭和58年に田上公民館で校下の歴史を語る会が催されその折りに、故松尾三郎氏が提供された地図を今の若松の地図にのせてみました。
 (正確なものではありません)また、松尾氏の説明ですが「本泉寺の有つた御屋敷、仏壇の漆にかかわった漆田、本泉寺の西に位置した西方、寺の警備に当たった人々の一角だつたと思われる警備野、夜番田、夜警坊、その他今もある花田、御坊谷など」寺を中心に生きた昔の人々に思いを重ねてみませんか。――(館長の自宅は町名変更になるまでは警備野だったそうです)